

# HOKUSHU NEWS

The KITAKYUSHU Chamber of  
Commerce and Industry

北商ニュース  
2017 / Vol.52 / No.606

# 04

手向山公園の桜 (小倉北区)



特集

## 平成29年度の事業計画と予算

会議所からのお知らせ

6月から簿記講座を開講  
産業観光ツアー

ズームアップ北九州

スマホで高齢者の見守り支援

会議所の動き

永年継続企業表彰を開催

キャンパス通信

学生たちがつくる新コーナー



北九州商工会議所

# 老舗今昔

北九州には大正時代はおろか、それ以前に始まった企業や、何代も続く商店がたくさんあります。そうした「老舗」の古い暖簾に編みこまれた秘話など、知られざる歴史を紹介します。

## 「信用」を守る精神を受け継ぐ

### 鶴丸海運(株)

若松区本町1の5の11  
TEL・761・5631  
FAX・771・6172  
業種・海運業・貨物自動車運送業・港  
湾運送業  
創業・1921年(大正10)

1921年、佐賀の農家に生まれた鶴丸廣太郎氏が、若松で興した「鶴丸商店」。これが若松で海上運送を中心に総合物流事業を展開する鶴丸海運(株)の始まりだ。廣太郎氏は学問を志し上京したが、経済的に困窮し挫折。故郷に帰る途中、横浜の山から港を行きかう外国の汽船を見て「実業家になって、世界を相手に海運をする」と決意。知人の紹介で若松の税



創業当時のほしけ

務署や商社に勤務し、経験を積んで独立を果たした。

この頃の若松は、筑豊炭田から運ばれた石炭の積み出しで大いににぎわっていた。全国から一旗あげようと人が集まり、数多くの石炭運送業者が生まれた。その中で成功した理由は「お客様の信用を裏切らない」という精神。

創業当時の、運送業をやれば誰でももうかるという状況だったが、その半面、仕事を約束通りにするところ



世界に挑戦する鶴丸海運の外航船

は少なかつたという。

廣太郎氏はそこを徹底して守り、

徐々に信用

を得ていった。時には、荒れた海にも船を出し、仕事をきっちりこなしたという。

その精神は今日まで受け継がれ、同社の特長である「安全・安心」で「定刻」に「確実」に荷を運ぶ「責任輸送」につながっている。

4年後の創業100周年に向けて、東アジアを中心に輸送のグローバル化を進めている。海外では文化や商習慣、法律が違い、日本のようなスムーズなビジネスが困難な場面も多いが、日本で培った物流品質と「責任輸送」で荷主の期待に応える。また、100周年に合わせ新社屋の建設を計画。北九州のシンボルとなり、地域の人に親しんでもらえるよう、史料の展示やくつろげる空間も設ける予定だ。

廣太郎氏の孫で代表取締役社長の鶴丸俊輔さんは「祖父の抱いた世界進出への思いを胸に、創業の地・若松から海外へ挑戦していきます」と熱く未来を見据えている。



代表取締役社長の鶴丸俊輔さん